



SSCシステム2008

小林市スクールサポートセンター

来年度から本格実施される小中一貫教育では、各中学校区における児童・生徒間交流や地域の方々との交流活動、また、新教科「こすもす科」では、地域学習や進路学習など、多くの場面で体験を重視した活動が展開されます。

このため、児童生徒の効率的・経済的な移動手段の確保、地域人材や専門的な人材の活用、地域の施設や事業所との連携、指導事例や地域素材等の提示資料の作成や収集が必要になります。

SSCでは、以下のシステムを開発・運用して、本市の新たな教育活動を推進します。



I 小中一貫教育サポートシステム

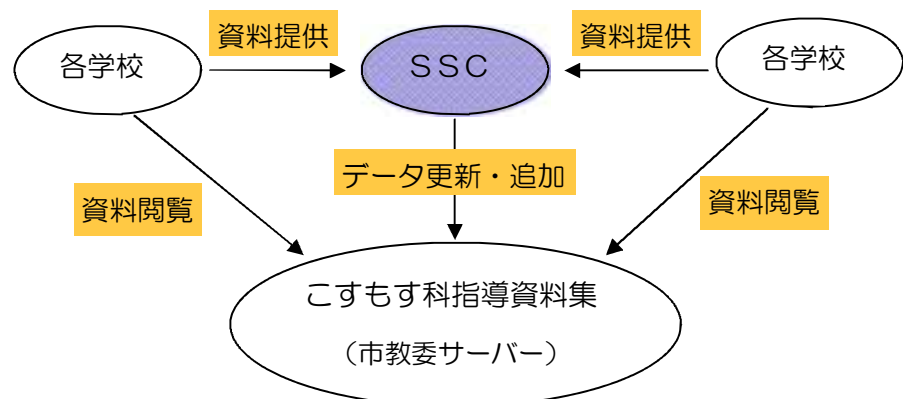
教育委員会と連携して、学校間調整を図りながら、市バスの確保にあたりるとともに、SSC人材バンクの充実を図り、人材情報を各学校へ提供します。また、地域施設の利用手続きや事業所との連絡調整にあたっていきます。



II 「こすもす科」指導資料共有システム

「こすもす科」で必要となる指導資料の作成・収集・整理の方法等について、学校情報ICT化検討委員会（仮称）等で検討協議して、システムの開発・運用にあたります。

システム開発後は、どの学校からでも、「こすもす科」で実践された指導案、提示資料等を地域イントラネット上で閲覧・検索・出力できるようにしたいと考えています。



本市では、限られた予算の中で、各学校の創意を活かした予算編成ができるよう事業型予算要求方式を導入しています。

一方、財政事情は年々厳しいものがあり、学校予算の執行の在り方について、より一層の工夫・改善を図ることが求められています。また、給食費等の校納金については、ごく一部とは言え、未収の状況が見られ、早急な是正が求められています。

SSCでは、以下のシステムを開発・運用して、学校財務の活性化を図ります。



Ⅲ 教材教具情報共有システム

市内の小中学校が所有する教材教具（備品）を電子データ化して、どの学校からでも、地域イントラネット上で閲覧・検索できるシステムを構築します。

このことにより、教材教具の共同利用が進むとともに、予算執行の効率化を図ることができます。

Ⅳ 視聴覚機器リサイクルシステム

市内の小中学校で不具合が生じているCDラジカセ、ビデオデッキ、マイク等について、一斉点検を行い、SSCで修理・廃棄の別を判断して、修理及び廃棄手続きにあたるとともに、必要に応じて随時、各学校へ提供（貸出）するシステムを構築します。

このことにより、各学校で休眠状態にある視聴覚機器類の有効活用を図るとともに、地球にやさしいリサイクルシステムを構築することができます。



Ⅴ 学校集金未納対応システム

給食費等の校納金の未収について、請求、督促等のマニュアルを作成するとともに、裁判訴訟手続きをサポートするシステムを構築します。

このことにより、市内小中学校の未収金対応の標準化を図るとともに、裁判訴訟手続きに係る各学校の事務負担を軽減することができます。

学校では、日課、連絡事項、職員動静、来訪者等の情報について、一元管理されていない場合が多く、教頭と教務主任及び事務職員等の校務処理の重複など非効率的な面が見られます。

また、児童生徒の情報についても、学級別に管理されている場合が多く、各担当者は各種名簿・帳票の作成に多くの時間を割いている状況があります。

SSCでは、以下のシステムを開発・運用して、校務処理の効率化を図ります。



VI 校務情報共有システム

地域イントラネット上で、日課、連絡事項、職員動静、来訪者、施設予約等の情報を共有するとともに、文書管理システムとリンクすることで、出張情報や報告期限情報を提供するシステムを構築します。

このことにより、校務情報の共有化による会議の精選と校務処理の効率化が図られるとともに、外部からの問い合わせに対して、迅速に対応することができます。

The screenshot displays the SSC SYSTEM web interface. It includes a calendar for July 2008, a menu with links like HOME and 文書管理, and several data tables. The '職員動静' (Staff Status) table shows attendance records for 08:30, 11:40, and 18:30. The '出張情報' (Outing Information) table lists outings with columns for departure time, venue, name, and organizer. The '報告物等' (Reports) table lists various reports with columns for deadline, name, submission date, and status.

時刻	開始	終了	氏名	休暇等
08:30	08:55	09:00	平井	平井
11:40	11:45	11:50	平井	平井
18:30	18:35	18:40	不明	不明

開始時刻	終了時刻	会場	件名	出張者	整理
08:30		宮崎県総合運動公園	平成20年度トップアスリート育成事業の開催について(依頼)	校長	編集
08:30	17:00	特別講師老人ホーム「陽光の里」	平成20年度第4回公立小・中学校初任者研修及び第10回県立学校初任者研修の開催(依頼)について(依頼)	校長	編集
08:30	17:00	特別講師老人ホーム「CMなも」園	平成20年度第4回公立小・中学校初任者研修及び第10回県立学校初任者研修の開催(依頼)について(依頼)	校長	編集
19:00		小林小学校 会議室	給食費未納付戻付請求の開催について	校長	編集

提出期限	件名	受付日	担当者	処理
7/28	宮崎県教育委員会委託検査の開催について(依頼)	7/3	不明	未
7/28	KTC中央高等学院 熊本キャンパス 2008年度夏休みの休校(入学)SUMMER SCHOOLのご案内	6/30	不明	未
7/25	平成20年度 鶴翔高等学校オープンスクールのご案内	6/18	不明	未
7/25	中学校卒業後進路調査結果の取扱いについて(依頼)	7/13	不明	未

VII 児童生徒各種名票提供システム

児童生徒情報を一元管理することで、情報管理の適正を期するとともに、各種名簿や帳票が簡単に作成・出力できるシステムを構築します。

このことにより、特に年度当初における各種名簿や指導要録(学籍の記録)の作成など、学級担任等の事務負担の軽減を図ることができます。

トピックス

共同実施の効果

先日、市教委から電話で「こすもす科の教科書と指導資料を手刷りで印刷するとしたら用紙以外に経費がどれくらいかかるか教えてください。」とのこと。マスターとインクの経費が必要になることを伝え、どんな方法で印刷するのかを尋ねたところ「全部で600ページを超えるので、学校で分担して印刷製本してもらうことも考えているのですが、先生方の労力を考えると・・・」、思わず「学校で分担するのは労力以外にも経費の無駄使いです。SSCでやります。」と言ってしまいました。

それは、こういうことです。原稿1枚を印刷するのにマスターとインク代で約50円かかります。
7中学校区でそれぞれ作業をする場合・・・600ページ×7校×50円＝210,000円
SSCで集中的に作業をする場合・・・600ページ×50円＝30,000円



このように集中化（共同実施）することで、約18万円の経費節減ができます。節減分で、印刷製本作業をアウトソーシング（5万円程度）することができますので、教職員の作業も不要になります。

事を始めるに当たっては、まず共同実施ができないかを考えてみましょう。

知っ得コーナー

CDラジカセにはタオルを掛けておきましょう

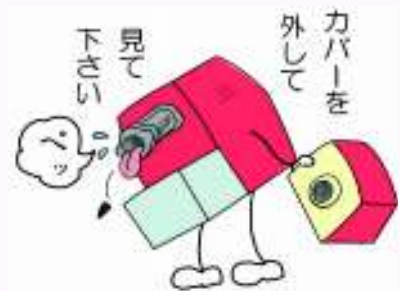
教室は、チョークの粉や埃が飛散しています。CDラジカセなどの不具合の多くはそのことが原因です。タオル1枚掛けておくだけで故障を防ぐことができます。

ミシンの点検・調整はまず職員作業で

ミシンの点検は業者に依頼すると、部品代とは別に1台につき2000円程度の経費がかかります。業者に依頼する前に、まず職員作業でミシンの点検・調整を実施することは、経費の節減を図るとともに、研修効果も高いものがあります。

鉛筆削りの不具合のほとんどは芯づまり

鉛筆を削ると、芯が折れたり、研げなかったりするときは、削り機の中に鉛筆の芯が詰まっている場合がほとんどです。



暑中お見舞い申し上げます。今回のSSC通信では、今年度から開発・運用を開始する7つのシステムについてご紹介しました。今後は、昨年度までに開発したシステムも含めたメンテナンス体制を確保することや、県下の他の共同実施組織との共同開発・共同管理などネットワークづくりを推進することが必要になります。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



編集 SSC広報班
発行 小林立スクールサポートセンター
住所 小林立大字細野184番地1 小林立小学校内
TEL 0984-23-3516 FAX 0984-23-3576
E-Mail h45ksscoa@miyazaki-c.ed.jp